



広報みまた

6年間の思い出残してお別れ

長田小学校卒業式



町内小学校の卒業式は、三月二十五日にそれぞれの小学校で行われました。

長田小学校でも、六年間の長い間、雨の日も風の日も熱心に勉強し、立派に成長した十三名が卒業しました。

この表紙も長田小学校の卒業式好景であり、ご承知のように当校は三股町でも一番古い伝統のある学校で知られています。ところが、十年前頃から生徒数が次第に減り出し、最近は特にその減少が目立ち、今春卒業した生徒も僅か十三名であり、長い間、お世話になりました校長先生をはじめ諸先生並びに在校生の皆さんに暖かい拍手におくられ、同校を去る卒業生も惜別と数多くの思い出をかみしめていた。

53/4月号

昭和53年度主要事業実施計画書 (単位:千円)

事業名	事業の内容	事業費
都市計画事業	新馬場部元線養池下水路神田旭ヶ丘運動公園	102,880
〃	区画整理調査費	12,000
道路新設改良事業	早馬公園並木一万城線ほか	251,000
土木施設災害復旧事業	前岡幹原線ほか8線	12,342
公営住宅建設事業	鉄筋コンクリート3階建2種24戸	145,296
危険住宅移転事業	かけ地危険住宅移転2戸	7,920
消防施設整備事業	防火水槽新設4基緊急サイレン施設	11,800
老人ホーム改築事業	鉄筋コンクリート平家建1,451㎡ほか	183,905
長田へき地保育所改築事業	保育所改築 240㎡	18,080
児童プール建設事業外	小型 66㎡	7,560
児童館建設事業	児童館建設 193.77㎡	13,647
農道整備事業	広域農道 平山大野線	38,800
公有林整備事業	植栽、下刈	1,500
小学校改築事業	樺山小学校鉄筋コンクリート2階建1,380㎡	130,209
道路整備事業	側溝、補修ほか	10,500
公営住宅整備事業	屋根葺替、側溝工事ほか	20,860
消防施設整備事業	防火水槽補修ほか	3,000
児童遊園設備事業	遊具、フェンスほか	638
児童福祉施設整備事業	屋根塗装、フェンスほか	3,023
農道整備事業	側溝補修ほか	7,500
畜産振興事業	自給飼料生産利用合理化促進事業ほか	3,384
学校施設整備事業	小・中学校、校舎補修ほか	12,128
公民館施設整備事業	外観、窓、補修ほか	3,110
体育施設整備事業	弓道場控室ほか	5,340
交通安全施設整備事業	ガードレール、カーブミラー外側鏡	2,465
失業対策事業	舗装、補修ほか	34,324
土地改良農道整備事業	農道整備	30,061
合計		1,073,272



七千五百円、農林水産事業費二億四千九百二十一万二千円、公債費などその他五億一千七百四万円が計上、この中で公共事業費は総額十一億一千七百三十二万二千円に上り、昨年度より三九・二%の伸び、また、町単独事業は国が景気浮揚対策の一つとしてスタートされた、臨時地方整備事業費一億七千六百万円、また、特別会計は水道事業費九千三百六十六万五千円で昨年度より二八・五%、病院事業費三億三千六百三十八万八千二百一十六万八千二百〇八%それぞれ伸び、一般会計並びに特別会計の水道事業費を除いて大幅に上回っており、史上最高の大増予算になりました。

(単位:千円)

自動車取得税交付金	37,448 (1.4%)
地方譲与税	53,536 (2.0%)
使用料及び手数料	48,158 (1.8%)
分担金及び負担金	40,547 (1.5%)
諸収入	63,790 (2.3%)
その他	10,023 (0.3%)



衛生費	60,848	2.2%
労働費	56,661	2.1%
消防費	55,401	2.0%
商工費	51,470	1.9%
議会費	44,562	1.7%
諸支出金その他	42,743	1.5%



〔昭和53年度当初予算〕

昭和五十三年年度の町政は、昨年に引き続き、四つの柱を重点に諸施策を推進してまいります。
ご承知のように、わが国の経済は政府の思い切った不況脱出の対策にもかかわらず、依然として低迷を続けています。
特に相づく企業の倒産、不安定な雇用情勢は更に深刻な様相を呈しており、社会の情勢は数多くの諸問題が残されています。

また、財政面においても公共団体の財政危機が叫ばれて三年に及りますが、依然として暗中を低迷している情勢であり、本年も厳しい財政難の中で福祉の向上に必要な諸施策を引続き充実してまいります。
このため昭和五十三年の財政計画は一般行政費を抑制し、経費支出の効率化と財政運営の合理化と明るい健全な郷土建設のために諸般の行政を開発してまいります。

歳入八一・三%が依存財源
予算は町長のこれまでのスロガン通り、四つの柱を基調に編成、福祉関係費は七億二千五百七

景気浮揚と
町政四つの柱を重点

- ▽生き甲斐のある福祉の充実
- ▽明るい環境づくりと農畜産の振興
- ▽豊かな知性と教育文化の向上
- ▽生活関連道路の整備

一般会計は27億3千万円

公共事業今年度
当初比二九・二%の伸び

三股町は去る三月二十四日、昭和五十三年度当初予算並びに特別会計予算を採択した。
本年度の一般会計予算は、二十七億三千七百九十九万五千円、昭和五十一年度当初予算を五億六千九百九十九万五千円を上回り、二二・八%の伸びであり、町の施策に呼応して、国、県の補助事業をはじめ町単独事業についても積極的に予算化しているが、財政難を反映した借金財政の措置であり、全額受け入れた公共事業費は完全に消化して、町の景気浮揚をはかることもに町の発展を期す。

歳出面では義務経費が十一億九千五百七十七万八千円(構成費四三・七%)、投資的経費十一億一千七百三十二万一千円(四〇・九%)、物件費を維持補修費などの他四億二千八百九十六万二千円(一五・四%)であり、区別別では民生費七億二千五百七十七万九千円、土木費六億一千三百四十四万六千円、教育費三億五千八百二十四万六千円、総務費二億六千七百四十

十七万九千円で昨年度比五四・九%、道路関係費は三億六千三百六十一万七千円で六七・四%、教育関係費は三億五千八百二十四万六千円で二二・八%、農畜産関係費は二億四千九百二十一万二千円で一九・六%の伸びとなっている。これを支える歳入は、町民税などの自主財源八一・七%の五億一千九百三十一万八千円で地方交付税などの依存財源が八一・三%の二億二億二千四百四十万一千円、国庫支出金五億八千三百三十七万九千円、町債三億四千九百九十九万九千円、町債五億四千二百八十四万、使用料及び手数料四千九百三十二万八千円などとなっています。

誕生

助役 桑畑 三夫氏 収入役 宮里 至氏

本町の助役、収入役の任期は去る二月二十八日で満了になり、町長は三月四日に臨時議会を招集して、助役、収入役の人事条件を上げ、議会の選任同意の議決を受けた。

野瀬前助役は、昭和四十九年三月一日に就任し満四年間にわたって躍進町勢をかかげる田中町長のよき補佐として、常に一体となって手腕をふるい町長の政治姿勢とのための愛ほを続けるわが郷土の発展に尽された。

桑畑氏は、昭和二十七年一月に町役場に奉職して議会事務局長、民生課長、民生部参事を歴任し、宮里氏は昭和二十二年五月に奉職し、税務課長、町長公室長、総務課長、町民室長を歴任された方であり、今後一層、町民が両氏に寄せた期待を大きいものがあります。



収入役 宮里 至氏 助役 桑畑 三夫氏

優勝 第四地区公民館 無事故・無違反競技会

交通安全協会三股支部は、運転者を対象に無事故無違反競技会を実施しており、昨年度までは、第五地区公民館が二年連続の優勝を飾っていました。ところが昭和四十二年は第四地区公民館が優勝し、三連勝をねらっていた第五地区公民館も二連勝でストップされた。

競技会は、町民の皆さんもご存知のとおり、地区公民館並びに支部の交通安全思想の普及徹底を図り正しい交通ルールの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的として行われています。しかしながら交通三悪をはじめ他の事故違反まで増加しており、町民皆さんとともに誠に憂慮にたえません。

三月号の広報紙でもお知らせしたように、都城警察管内の飲酒運転検挙者も三股町が「ワースト一位」で四十五人になっています。特に悪質な運転者については警察署の取締りは強化されていますが、後をたないのが実情で、また、一般の交通事故違反も昭和五十一年の九百九十八件に対し昭和五十二年は五百三十三件も多い千五百三十一件で速度違反、一方通行及び通行区分格の違反が目立っており、本町の事故は年々増加しています。

水道管敷設変更工事完成

高城—三股線 県道

県道、田上で昨年十二月六日に「上水道管からの漏水かき」地下水による影響か」で道路が突然陥没し、自動車三台が転落し乗っていた四人の方がけがをされ、また一般通行人の多くの方々にご迷惑をおかけしました。

この付近は昔から地下水があり土質もシラス地帯で、以前にも原因不



水道管敷設現場(田上)

明による陥没事故が二・三回発生したこともあり、町水道局では普

段から水道管の破れや漏水等には十分な注意を払っていました。ところが今回も突然に大きな陥没事故が発生し、水道局では今後、また陥没のおそれがあることから、現在は現状のままにおき、新しく農道、水田にそして一部が幌山入口の県道の歩道に埋設することになり、工事費一千二百十万円を投じて、工事三日から工事に着手三月末竣工の予定であります。

長田地区住民の長い間念願であった、第五地区公民館が完成しました。



完成した第5地区公民館

この建物は、鉄筋コンクリート造りの一階建、

請負工事費は二千六百五十万円です。床面積は三百三十八平方メートルの広さに中、小会議室、第一、二会議室、料理実習室、図書室、事務室等明るい近代的な設備がほどこされてあり、公民館は住民の教養の向上、健康の増進、情操の陶冶並びに生活文化の振興、社会福祉の増進を目的にした教育の場であり、今後の地区公民館の積極的な利用に公民館活動をはじめ各種の社会学習の利用効果が大きい期待されます。

自然と花を求めて 権八重公園へ

青葉、若葉の新緑の季節、野や山も草木の若芽も伸び、春らしい絶好の行楽シーズンを迎えま

町権八重公園のつつじの花はただいま三分咲き程度であります。特に権八重公園のつつじ花見ごろは長田峽の溪谷美とともに自然の景観に親しもうと、例年町内は

もとより、町外からの客も多く、家族連れや職場グループで訪れる姿は年々目立っています。

つつじの花は五月の連休頃までは釣り堀り用のマス魚などを用意し、行楽客の出入を歓迎しています。



昨年撮影した権八重公園のつつじ

完成 第5地区公民館

この建物は、鉄筋コンクリート造りの一階建、請負工事費は二千六百五十万円です。床面積は三百三十八平方メートルの広さに中、小会議室、第一、二会議室、料理実習室、図書室、事務室等明るい近代的な設備がほどこされてあり、公民館は住民の教養の向上、健康の増進、情操の陶冶並びに生活文化の振興、社会福祉の増進を目的にした教育の場であり、今後の地区公民館の積極的な利用に公民館活動をはじめ各種の社会学習の利用効果が大きい期待されます。



トロフィーを受ける第4地区

四月は身体障害者

福祉強調運動

わが国には、およそ百五十万人以上の身体障害者がいると推定されています。

このうち、十八歳以上の人は約九三%にあたる百四十万人以上いるとみられています。

このような人たちが安心して、生活できるように、国をはじめ、地方自治体が福祉の施策の充実をはかっていかなければならないことは当然ですが、身障者の福祉を本人や家族だけの問題にするのではなく、私たちひとりひとりが、

地域社会やみんなの問題として理解し、協力することが必要です。

体の不自由な人がその障害を克服し、りっぱに社会で活躍することは、本人や家族の人の喜びはむしろのこと、社会全体も明るくなるものです。

このように、体の不自由な人たちの福祉について、国民一般の理解と協力をえるために、ことしも四月一日から三十日までの一カ月間「身体障害者福祉強調運動」が実施されます。

◆土地や建物を

売ったときの税金

土地や建物を売ったときに生ずる利益を譲渡所得といいますが、これには所得税がかかります。

所得税は一年間のいろいろな所得を総合して税金を計算することになっていますが、土地や建物を売ったときの譲渡所得は、他の所得と分離して税金を計算します。

また、土地や建物の取得の時期が、昭和四十三年以前か、それとも昭和四十四年以後であるかによって、長期譲渡所得と短期譲渡所得

に分かれ、長期譲渡所得には軽く、短期譲渡所得には重く課税される仕組みになっています。

短期譲渡所得に重く課税されるのは投資による土地の売買を抑制すること、また、長期譲渡所得が軽く課税されるのは土地の供給促進を期待する政策的な目的によるものです。

詳しいことは、最寄りの税務署又は税務相談室にお尋ねください。

鯉のぼりが

電線にふれないよう

ご注意ください

さわやかな初夏の風物詩、鯉のぼりも電線の近くで泳がせると思わぬ感電事故につながりかねません。事故防止のため、次のようなことにご注意ください。

●電線にふれる場所に、鯉のぼりを立てないようにしてください。

●鯉のぼりの支柱を立てたり倒したりするとき、電線にふれないよう注意してください。

●もし、鯉のぼりが電線・電柱に引っかけた場合は、自分で電柱に登ったり、物干さおでとりはずしたりせず、すぐお近くの九州電力営業所へご連絡ください。

愛の「寄付」

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次の通り頂きました。故人の冥福をお祈り致しますと共に社会福祉進展のために有意義に利用させて頂きます。

- 昭和五十三年二月二十三日より
- 昭和五十三年三月二十二日まで
- 昭和人名 地区 金額
- 黒木勝美 黒木ユキエ 大さ五千元
- 野崎照美 野崎スミエ 高城五千元
- 中野静雄 中野トミ 大さ三万円
- 畔地トシエ 畔地春美 山王原 五千元
- 濱田 勇 濱田シノブ 飯屋二万円
- 瀬之口秀雄 瀬之口秀正 勝岡五千元
- 福元清市 福元スゲ 小さ二万円
- 川原シヅ 川原実利 中米三万円
- 福留政信 福留サノ 今市一万円
- 下村征洋 下村常清 上新二万円
- 大峰義法 大峰ユミ子 小さ三万円

4月納税

軽自動車全期

固定資産税1期

三股町の人口

昭和53年4月1日現在

人口 16,684人

男 7,865人 出生 19人

女 8,819人 死亡 9人

世帯数 5,056戸